

ジュバ市内橋梁建設計画【南スーダン】

施策所管局課 国別開発協力第三課
評価年月日 令和4年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	南スーダン共和国
(2) 案件名	ジュバ市内橋梁建設計画
(3) 目的・事業内容 (注) 閣議決定日、供与条件などを含む	本事業は、ジュバ市内の幹線道路上にある4橋梁を架け替えることにより、安全な通行の確保及び交通容量の拡大を図り、もって基礎的な経済・社会インフラ整備に寄与するもの。 案件の内容 ・ジュバ市内4橋梁の架け替え(4車線、橋長10～15m、アプローチ道路90m～200m、護床工、護岸工) ・コンサルティングサービス(詳細設計、施工監理) ア 閣議決定日：平成28年5月20日 イ 供与限度額：26.55億円
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業計画当初、50年以上にわたる内戦等の影響により南スーダンの首都ジュバ市内のインフラ整備状況は劣悪であり、市内幹線道路の橋梁には、幅が狭く交通のボトルネックとなっているものや、老朽化により通行に危険が及ぶ恐れがあるものが混在していた。現在においても、これら橋梁の整備は進んでいないうえ、人口及び交通量は著しく増加しており、市内交通の円滑化を図ることが一層重要になっていることから、現在も本事業に関する社会的ニーズがある。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 閣議決定後の2016年7月に武力衝突が発生し治安情勢が悪化したため、実施中であった無償資金協力事業が全て中断を余儀なくされる中、本事業も国際約束締結前に中断となった。その後、対立する勢力間の協議が進展し停戦が実現して、2020年2月には国民統一暫定政府が設立されて治安情勢が著しく改善したため、他の無償資金協力事業は工事を再開している。本事業については、2021年7月から12月まで、事業化調査を実施して、本事業に関するニーズが高いことを再確認するとともに、事業費の見直しを行った。これを踏まえ、2022年4月27日、交換公文(E/N)及び贈与契約(G/A)の署名を行った。
(2) 今後の対応方針	2021年に実施された事業化調査において本件に関する社会的ニーズが引き続きあることを確認済みであり、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれている。事業の進捗を妨げていた要因が解決していることから、事業化調査の結果をふまえて、支援を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 南スーダン国 ジュバ市内橋梁建設計画 事業化調査報告書（先行公開版）2021年12月